

2019. 6. 29【学校司書入門講座：使える学校図書館を作ろう】

学校図書館と子どもの学びとのつながり  
～各教科等の特質をふまえた授業と関連づけて～

東京学芸大学  
大村龍太郎

1

【授業では・・・】

・ねらいに即して「素材」をどう料理するかで、教材になる

【授業以外でも、子どもが素材に出会ったとき】

・「素材」に興味・関心やどんな価値を感じるかで、  
子どもの学び（心や頭の栄養）になる



学校図書館は、子どもにとっても教師にとっても、  
**「素材」の宝庫**

2

今日のお話

図書館、そして詳しい学校司書の方が、  
「先生や子どもたちの味方になるために」  
ときには「学校の『授業』に貢献するために」  
どんな可能性があるかを、  
教育学における「授業研究」をふまえた  
実践事例をもとに考えてみましょう。



3

国 語 科

4

## 国語科 第6学年「読むこと」

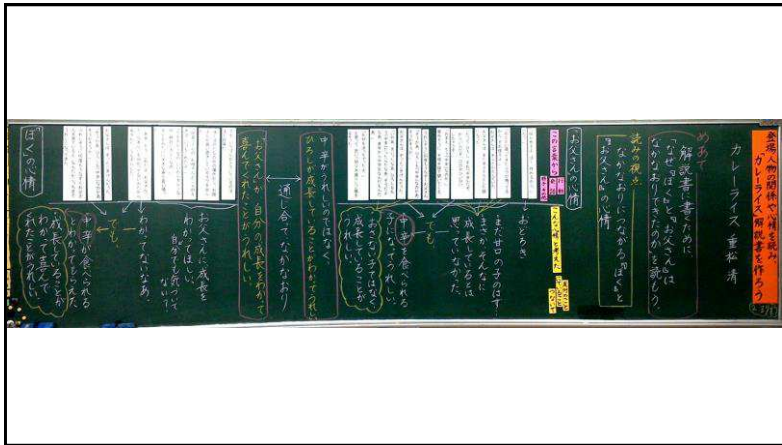
- (1) 読むことに関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。
  - エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

5

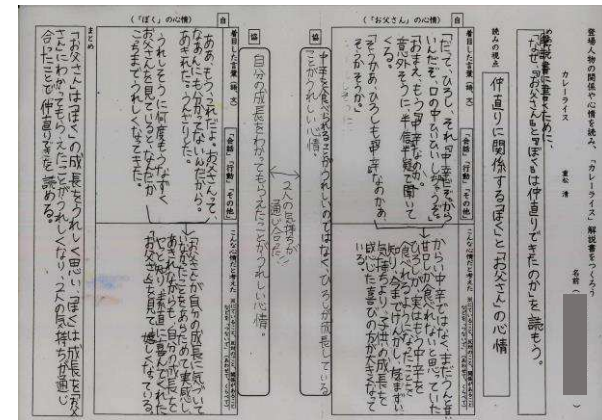
描写とは、物事の様子や場面、行動や心情などを、読み手が想像できるように描いたものである。第5学年及び第6学年においては、描写に着目しながら読み進めていくことが重要である。登場人物の心情は、直接的に描写されている場合もあるが、登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などを通して暗示的に表現されている場合もある。このような表現の仕方にも注意し、想像を豊かにしながら読むことが大切になる。

登場人物の人物像を具体的に想像するためには、登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考えなどを総合して判断することが必要である。

6



7



8



立松和平の関連作品  
 「山のいのち」「牧場のいのち」「田んぼのいのち」  
 「川のいのち」「木のいのち」「街のいのち」

9

関連したお話ないかなあ。  
 「似た構成」  
 「同作者の別の物語」  
 「同様のテーマ」

授業で使えそうな  
 関連物語はないかなあ。  
 「似た構成」  
 「同作者の別の物語」  
 「同様のテーマ」

それなら、こんなのいかがですか？

司書さん

あるいは、カリキュラムに合わせた紹介コーナーなどがあると素敵ですね。

10

国語科 第1学年「書くこと」

第1学年「書くこと」

(1) 書くことの能力に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

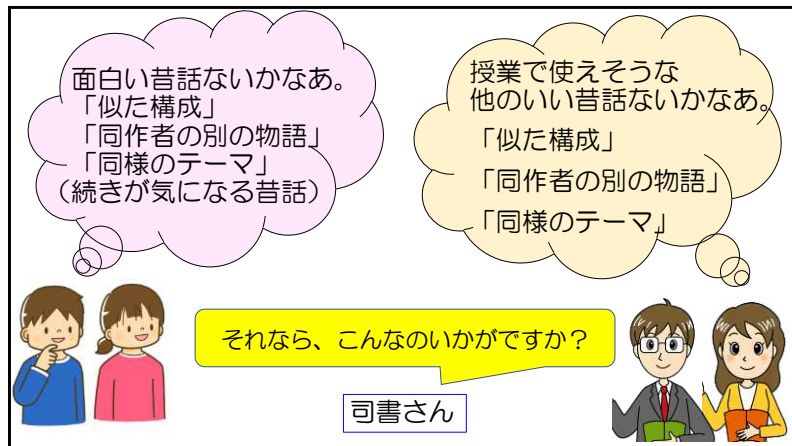
ア 経験したことや想像したことなどから書くことを見付け、必要な事柄を集めたり確かめたりして、伝えたいことを明確にすること。

イ 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。

11

第1学年 単元「おはなしのつづきをかこう」

12



13



14

**社会科 第5学年の目標**

社会的事象の見方・考え方を働かせ、**学習の問題を追究・解決する活動を通して**、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(2) **社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。**

15

**【5年生「国土の地形の特色」】**

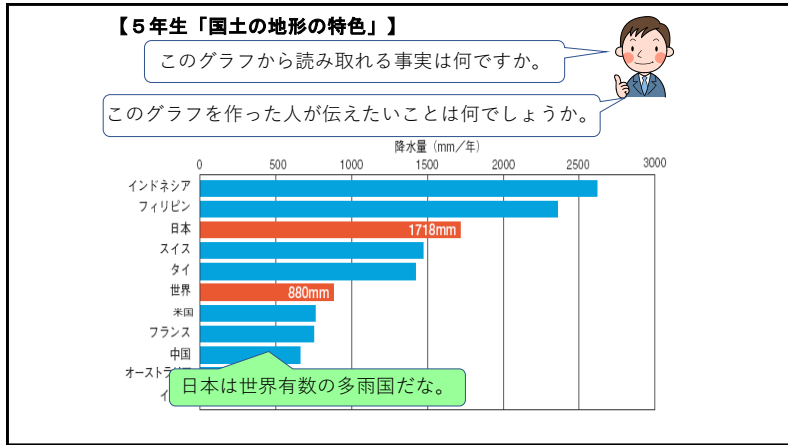
教科書の課題  
「山地や平地の特色や広がり**はどのような**になっているのでしょうか。」

↓

「山地や平地の特色や広がり**はこのよう**になっている」という結論にしなければならない。

事実とはとらえるだけになる。  
事実を関係づけてからくりをあばく社会的な思考をし、深い理解をするには至らない。

16



17

【5年生「国土の地形の特色」】

日本は、世界でも有数の、水不足になりやすい国です。

えー!?

何がそんなに「えー!？」なの?

だってさ!...

わかったわかった。じゃあ、みんなは、何をときあかしたいわけ?

日本は、どうして降水量が多いのに、水不足になりやすいのだろう

18

【5年生「国土の地形の特色」】

日本は、どうして降水量が多いのに、水不足になりやすいのだろう

日本は、せまいからじゃないの。

じゃあ、予想しようか。

水をためておくことがないんじゃないの。

水の使いすぎなんだと思う。

「人為的なもの」

「国土の地形にかかわるもの」

なるほど。では、今日は、日本の地形が、水不足になりやすいことと関係がある特徴なのかを調べれば、みんなのモヤッとが解決するかもしれないね。

19

日本は、国土の4分の3が山地なのか。

川の流れが、とても速くて急なんだ。

すぐ海へながれてしまうんだ。

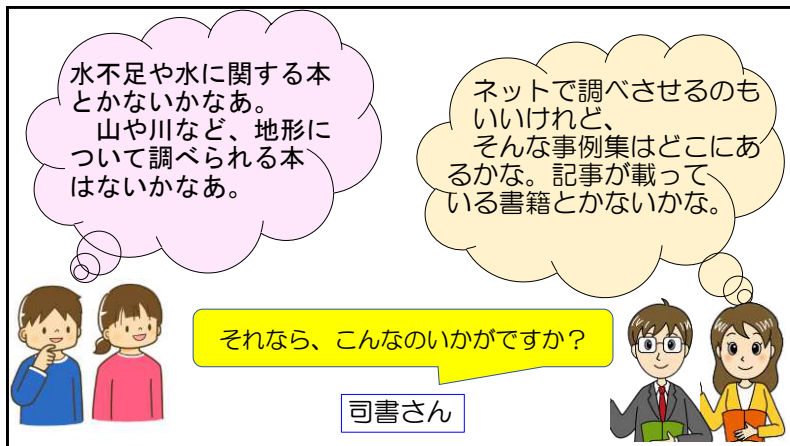
つまり、国土がせまいうえに、ほとんどが山地で川の流れも急であり、貯水力がないという特徴が、雨が多くても水不足になりやすい理由の一つになっている。

関係的・構造的な知識へ（深い理解）

そんな日本に住んでいるのだから、普段から、水の使い方などを考えて生活しなければならない。

活用的知識、社会的価値判断力の育成へ

20



21



22

**理科 第4学年**  
**第4学年の内容(2) 金属、水、空気と温度**

金属、水及び空気の性質について、**体積や状態の変化**、熱の伝わり方に着目して、それらと**温度の変化とを関係付けて**調べる活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

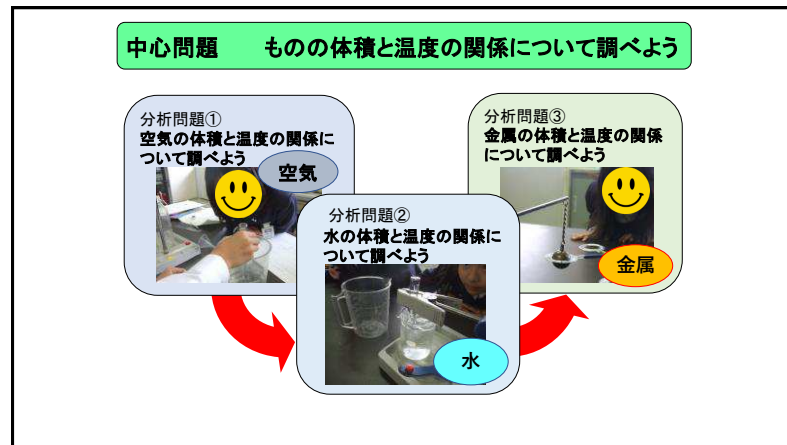
ア 次のことを理解するとともに、観察、実験などに関する技能を身に付けること。

(7) **金属、水及び空気は、温めたり冷やしたりすると、それらの体積が変わるが、その程度には違いがあること。**

イ 金属、水及び空気の性質について追究する中で、既習の内容や生活経験を基に、**金属、水及び空気の温度を変化させたときの体積や状態の変化、熱の伝わり方について、根拠のある予想や仮説を発想し、表現すること。**


**第4学年 単元「ものの体積と温度」**

23




24

子どもが「？」をもって追究できるように



口の中の息を吹き込むことでふくらむ

今までの体験や既習内容とのずれ  
新たな問題を  
感じ取る **敏感性**



わっ！ふくらんだ！息をふきこんでいるわけでもないのに。

お湯で温めたことと関係があるのかな。

シャボン玉を息でふくらますと、ふくらむ理由が違うな。


どうしてふくらむのだろう。温めたことと関係があるのかな？

**問題**

空気の体積と温度の関係について調べよう。


25

空気の体積と温度の関係について調べよう



**必要な言語活動と手立て**

関係のありそうな今までの経験や知識をもとに → 関係づけ → **イメージ図**




お湯に温められた空気は上に移動するから、シャボンがふくらむと思うよ。

この図のように、温められた空気はふくらんでいるのだと思うよ。

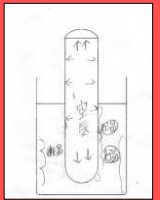
26

分析問題① 空気の体積と温度の関係について調べよう

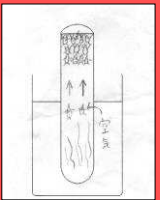


**必要な言語活動と手立て** 様々な独自の説を生み出す **独自性**


関係のありそうな今までの経験や知識をもとに → 関係づけ → **イメージ図**



空気がふくらむ説



空気上昇説



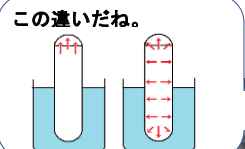
具体的な実験から考える **具体性**

空気が外から入る説


27

量的・関係的な視点

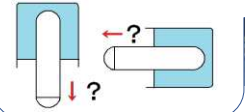
この違いだね。



**イメージ図を用いた言語活動**



試験管の向きを変えて実験できないかな。



28

分析問題① 空気の体積と温度の関係について調べよう

空気は温めると下や横方向にもふくれるのか確かめる実験

下にもふくらんだ!

横にもふくらんだ!

試験管を下に向けたとき

試験管を横に向けたとき

29

分析問題① 空気の体積と温度の関係について調べよう

空気は温めると下や横方向にもふくれるのか確かめる実験

考えを修正し 新たな考えをつくる **再構成**

空気を温めると上だけではなく、下や横にも膨らんでいる! 体積が増えたと見える。

空気がふくらむ説

空気上昇説

空気が外から入る説

30

現象を見た直後

実験・交流後

考えを修正し 新たな考えをつくる **再構成**

空気を温めると軽くなって上に上がりシャボンのまくがふくらむ。

空気を温めると横や下などいろいろな方向にふくらみシャボンのまくもふくらむ。空気が温めると体積が増す。

31

空気って不思議だなあ。水って不思議だなあ。自然の不思議についての本とかないかなあ。科学者の伝記とかないかなあ。

授業で紹介できる科学者の本や、発展的な内容が書かれている本はないかなあ。

それなら、こんなのありますよ

司書さん

32



# 生活科

33

## 生活科

(6) 身近な自然を利用したり，身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して，

遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ，

その面白さや自然の不思議さに気付くとともに，

みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

34

## 第2学年 単元「とばしてあそぼう」



35

## 具体的な活動



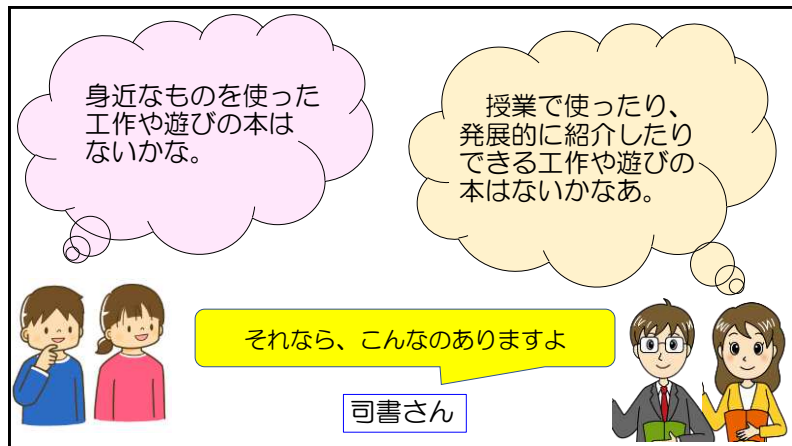
## 話し合う



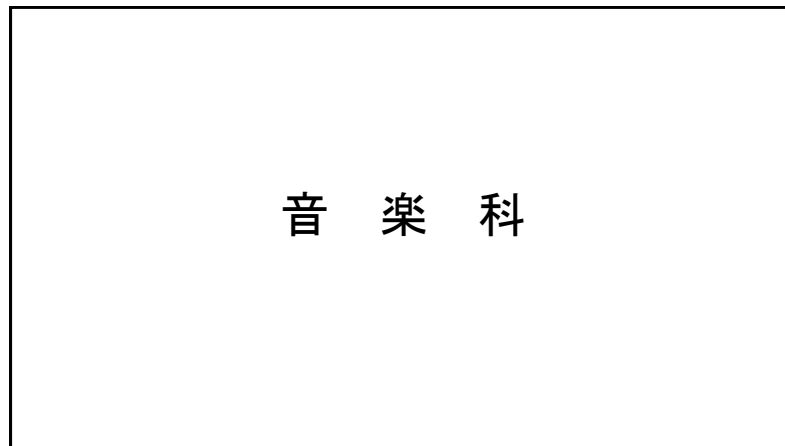
## 整理する



36



37



38

音楽科

第5学年及び第6学年

A表現(1)

ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、**曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。**

イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解すること。

ウ **思いや意図に合った表現をするために必要な次の(7)から(9)までの技能を身に付けること。**

(7) 範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能

(8) 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能

(9) 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能

39

第6学年 単元「卒業へのハーモニー」

「6年間お世話になった人たちへの感謝」  
「中学へ向けて『がんばるぞ』という決意」を表現したいという**思い**

楽曲「遥か」(GReeeN)

(楽曲の最後の部分の歌詞)

どれだけ さびしくても ぼくらは 歩き続ける  
必ず帰るから  
想いが風に舞う  
あなたの誇りになる  
いざ 行こう

40

第6学年 単元「卒業へのハーモニー」

「6年間お世話になった人たちへの感謝」  
「中学へ向けて『がんばるぞ』という決意」を表現したいという思い

楽曲の3つのフレーズに目を向けた子ども

♪A 必ず帰るから      B 想いが風に舞う  
C あなたの誇りになる～



A、B、Cの3つのフレーズにどのような強弱をつけると思いが伝わるかな？ 歌い試してみよう。

41

強弱、拍の流れなどを

歌詞の意味と自分たちの思いをもとに、意図をもって変化させる



42

〇〇の楽文集とかないかな。

〇〇にふさわしくて子どもに紹介できる楽文集などはないかな。



それなら、こんなのありますよ

司書さん



図画工作科

43

44

## 図画工作科

### 第5学年及び第6学年（2）の目標

材料などの特徴をとらえ、**想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。**

45

### 第5学年及び第6学年の内容「A 表現」（1）イ

(1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、**感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから、表したいことを見付けることや、形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながら、どのように主題を表すかについて考えること。**

46

### 第5学年 単元「光のかざり」

わあ、きれいだなあ。

どうやったらこうなるの。

なんでこんなふうになるの。



47

### 主に並べて

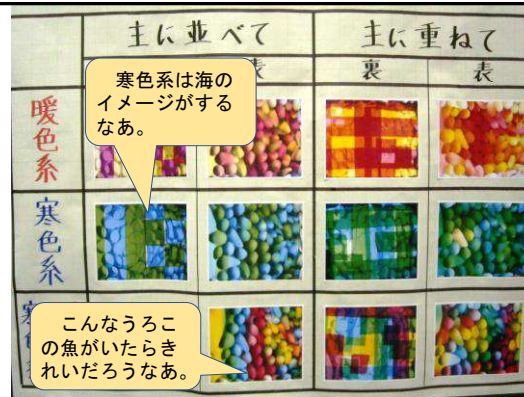
### 主に重ねて

暖色系

寒色系は海のイメージがするなあ。

寒色系

こんなうろこの魚がいたらきれいだろなあ。



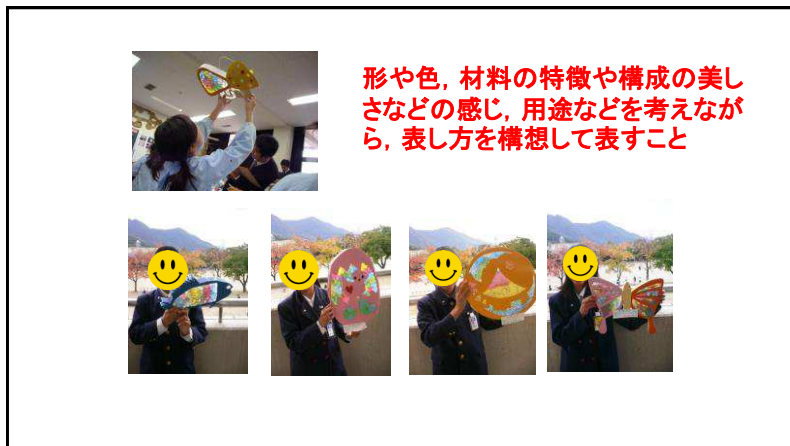
48



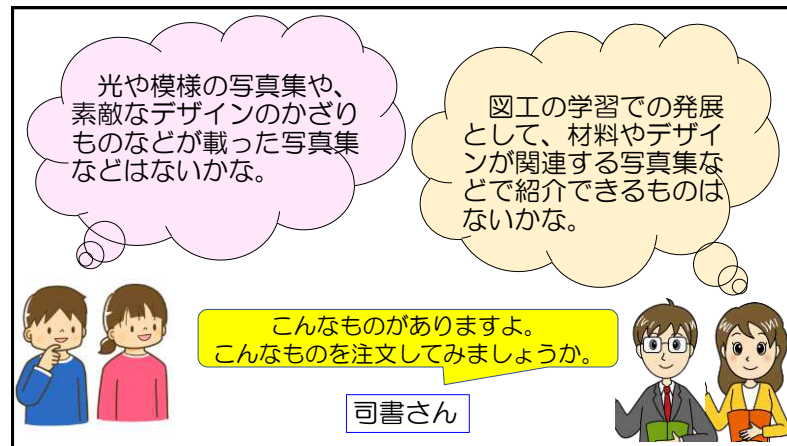
49



50



51



52

# 家庭科

53

## 家庭科 目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 日常生活の中から問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。

54

### 第5学年 単元「つくろう わが家のゆで野菜」



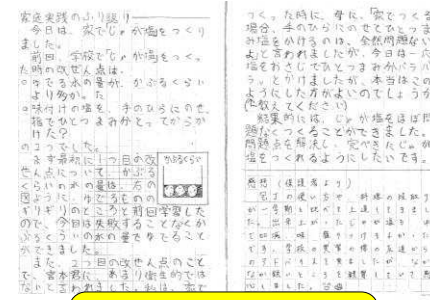
わが家に合うゆで野菜  
サラダのレシピ作り



ペアを組んで見合う

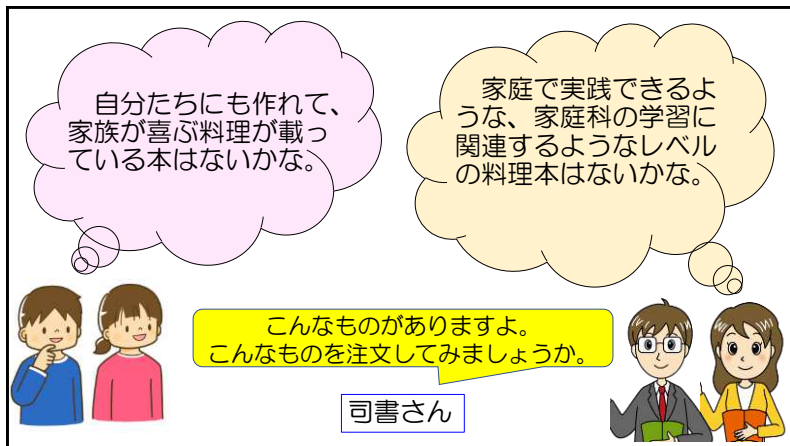
55

### レシピと実践をもとに対話活動、改善点の指摘



家庭での実践に活用

56



57



58

体育科

第3学年及び第4学年の目標（1）

器械運動について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(1) 次の運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方を知るとともに、その技を身に付けること。  
ウ 跳び箱運動では、切り返し系や回転系の基本的な技をすること。

(2) **自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えること。**

59

ポイント（言語化でき、共通理解できる）→わかってもらえない

手は肩幅に、遠めに  
つて  
腕を高く

両足で軽く  
ける

かてをひき、  
後頭部で  
支える

足先を高く  
あげて、振り  
出す

すばやく  
力とを腕の下に  
りかよせる

ぐっと両手で  
支えて

すーっと持  
ち上げ

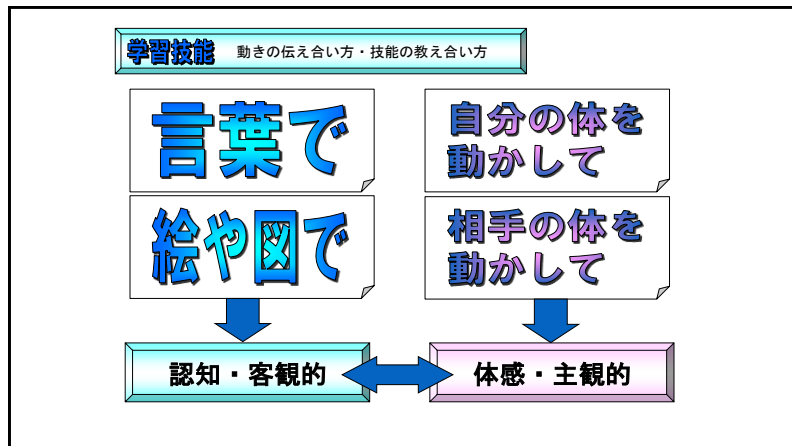
つまききピ  
ンッ！

すーっと下  
るして

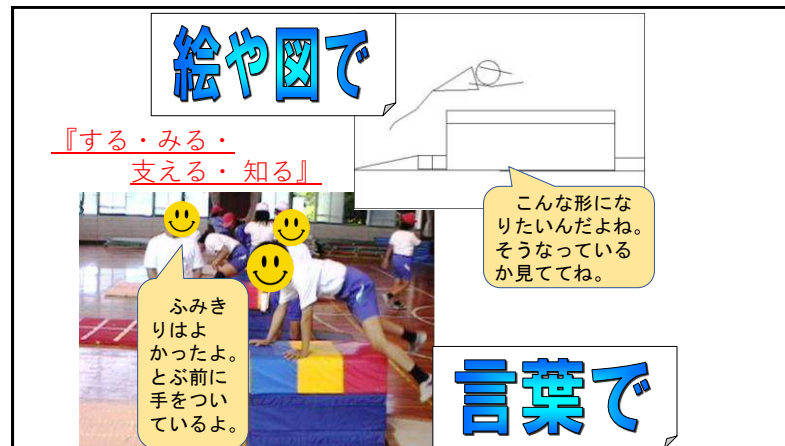
キョッとひ  
きつけ

コツ（言語化できない、共通理解できない）→できればわかる

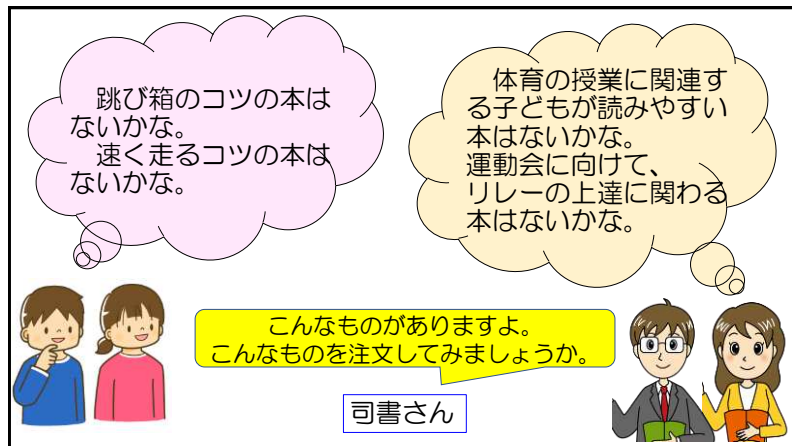
60



61



62



63



64



## 特別活動

### 特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。

(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

65

## 内容 児童会活動

活動主題「新1年生を迎える会をしよう」

集会委員からの提案を  
くらしづくり会議実行委員が採用

集会委員が原案を考え、各クラスに提案  
(ふさわしいゲームを考えてください)  
観点：1年生が楽しめるもの  
1年生をふくめた縦割りのメンバー  
の仲が深まるもの

各クラスでふさわしいゲームを話し合う

66

くらしづくり会議（代表委員会）

議題「新1年生を迎える会にふさわしいゲームを決めよう」



観点：① 1年生が楽しめるもの

② 1年生をふくめた縦割りのメンバーの仲が深まるもの

常に観点到った意見であるかを吟味しながら  
(整理・分析しながら) 話し合う。

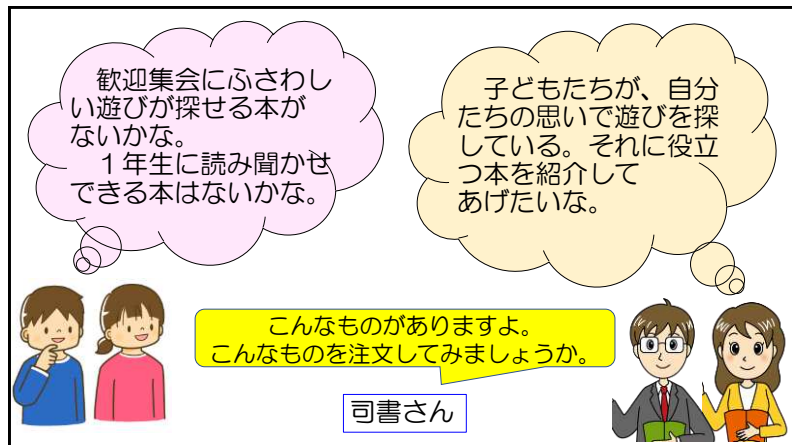
司会者もその視点を忘れない。

67



より楽しい、より価値のある生活を自分たちの  
思いでつくりだすのが特別活動

68



69



70

**外国語活動**

**目標**

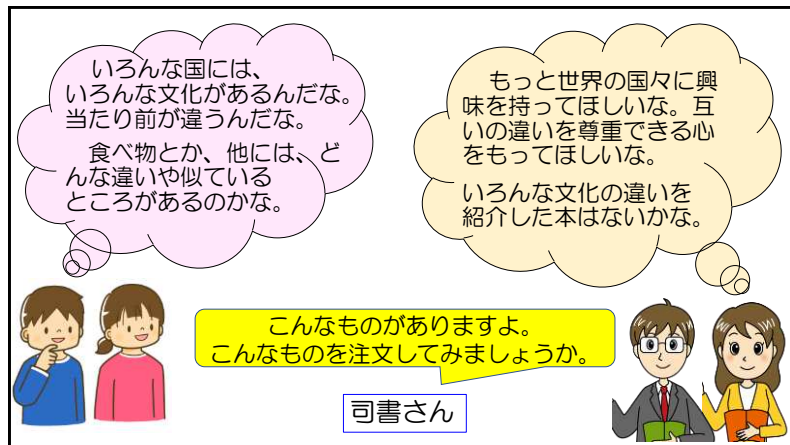
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。
- (2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。
- (3) 外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

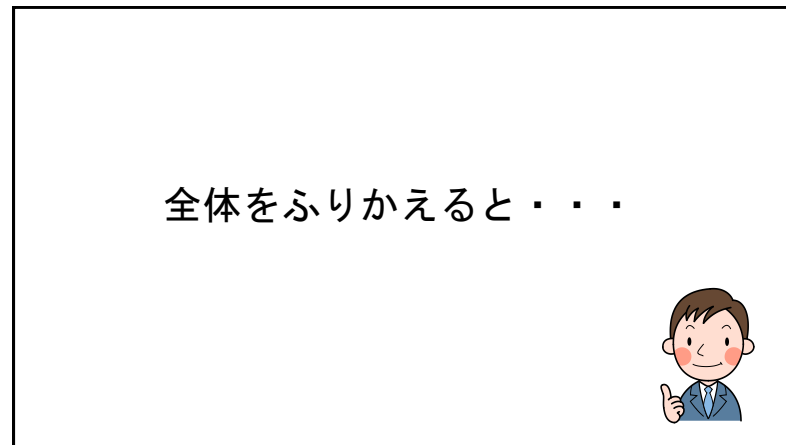
71



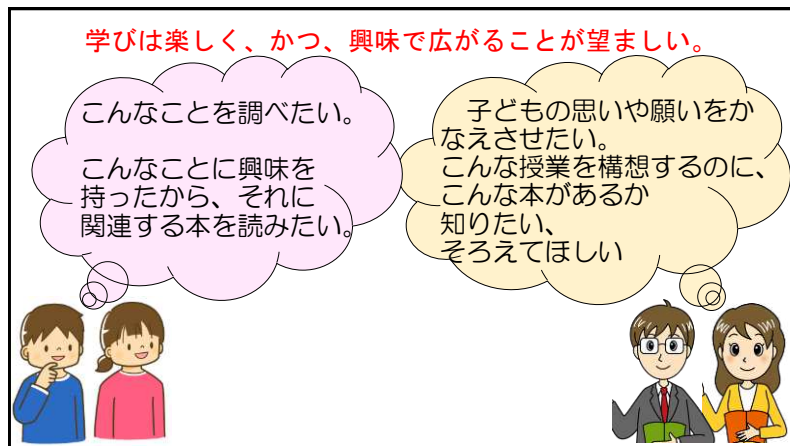
72



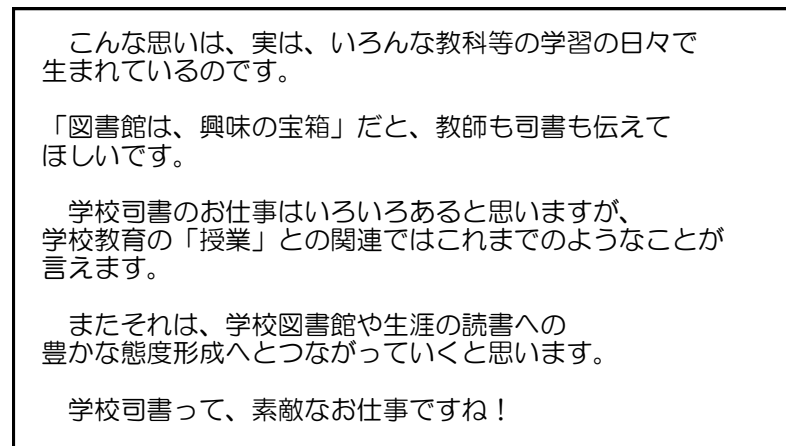
73



74



75



76